

平成26年度 事業報告

公益財団法人川崎市生涯学習財団が定款第4条に基づき実施した、平成26年度の事業実績は以下のとおりである。

I 生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(公1)

1 生涯学習に関する学習機会提供事業 (公1)

この事業は、生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援を通じて、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現と、市民の参加・協働による市民主体のまちづくりに寄与することを目的とした事業である。

(1) かわさき市民アカデミー (定款第4条第1項第1号)

川崎市が全国に誇れる「市民大学」である、かわさき市民アカデミーは高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であり、生涯学習社会実現の一助となっている。

平成23年度からNPO法人かわさき市民アカデミーに運営を移管し、当財団は広報と会場確保、三者連絡会議の主宰及び各種委員会への委員派遣、対外活動支援等の役割を担い、引き続き協働事業として推進した。

① 三者連絡会議の開催

	26年度	25年度	増減
回数	4	4	0

② 開講式の開催

日時 平成26年4月2日 (水)

対象 2014年度 前期受講生

内容 式典、記念講演「現代の市民と学習の意義」 駒澤大学 教授 瀬戸岡 紘
～活力に満ちていた近代初期の市民の生き方に学ぶ～

	26年度	25年度	増減
参加者	138	153	△15

③ 受講生のつどいの開催

日時 平成27年3月5日 (木)

対象 講師・受講生

内容 修了式／ひとみ座シローおじさんひとり芝居／各講師挨拶／クイズ大会 他

	26年度	25年度	増減
参加者	97	82	15

④ 平成26年度の講座・ワークショップ等開設数

	26年度	25年度	増減
前期	49	46	3
後期	50	47	3

⑤ 会員・聴講生の受講者数

ア 平成26年度前期 (延べ受講者数)

	26年度	25年度	増減
会員	2,074	2,033	41
聴講生	1,186	1,235	△49
延べ人数	3,260	3,268	△8

イ 平成 26 年度後期（延べ受講者数）

	26年度	25年度	増減
会員	2,000	1,938	62
聴講生	1,150	1,298	△148
延べ人数	3,150	3,236	△86
合計（前期・後期）	6,410	6,504	△94

⑥ フェスタ ‘14（学園祭）

11月15日（土）16日（日）

主催：NPO法人かわさき市民アカデミー、（公財）川崎市生涯学習財団

〔内容〕

- ・基調講演 地球深部探査船「ちきゅう」と地球生命の謎
独立行政法人海洋研究開発機構 理事長 平 朝彦
- ・講演、演奏、子ども理科教室、模擬熟議、朗読、展示、フリーマーケットなど

	26年度	25年度	増減
参加者	836	1,174	△338

(2) ふれあいサマーキャンプ（定款第4条第1項第1号）

子どもたちの体験活動として、川崎市の友好自治体との連携等によって、川崎市の小・中学生が豊かな自然や文化に触れるとともに、子ども同士の交流を通して心身ともに健全に成長することを目的として開催。川崎市教育委員会、川崎市教職員団体及び当財団で構成する実行委員会を組織し実施している。

ア 北海道中標津町コース（8月19日～22日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）若竹の里及び旅館

（主な活動）食品加工実習（アイスクリーム・バター・ソーセージ）、工場見学、学校訪問・交流、溪流釣り・摩周湖見学

イ 岩手県花巻市コース（8月1日～4日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）公民館及びホームステイ

（主な活動）昆虫生態観察、さき織り・和紙すき体験、カヌー・ボート体験、農業生活体験、被災地陸前高田訪問、地元の方々との交流

ウ 長野県富士見町コース（7月29日～8月1日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）八ヶ岳少年自然の家

（主な活動）地元小中学生との交流、パターゴルフ、軽登山、酪農体験、自然観察、天体観測、キャンドルファイヤーなど

エ 和歌山県古座川町・太地町コース（7月29日～8月1日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）ホームステイ及び旅館

（主な活動）地元小学生との交流、ゆずジャム作り、熊野古道ウォーク川遊び、カヌー教室、くじら博物館見学など

オ 島根県益田市コース（7月25日～28日、3泊4日）小・中学生

（宿 泊）公民館、集会場、ホームステイ

（主な活動）夜神楽見学、海釣り、磯の生物観察、海水浴、かかし作り、早朝ハイキング、ウナギ獲り体験など

	参加者数		
	26年度	25年度	増減
ア 北海道中標津町コース	23	24	△1
イ 岩手県花巻市コース	22	23	△1
ウ 長野県富士見町コース	42	35	7
エ 和歌山県古座川町・太地町コース	25	24	1
オ 島根県益田市コース	20	20	0
合計	132	126	6

カ 友好自治体の青少年受入

和歌山県古座川町受入(8月26日～28日、2泊3日) 小学6年生

(宿泊) 川崎市青少年の家

(主な活動) 対面式、学校交流(宮崎小学校)、東芝未来科学館見学、川崎マリエン、よみうりランド、岡本太郎美術館見学など

26年度	25年度
7	18

(3) キッズセミナー(定款第4条第1項第1号)

教職経験者で組織するNPO法人教育活動総合サポートセンターと連携し、夏季休業期間中に理科自由研究やパソコンなどの体験活動等を通して新たな興味・関心を喚起しながら、学習活動の充実を図ることを目的に実施した。

ア 日程 平成26年7月22日(火)～7月26日(土)の5日間

イ 実施内容 基礎的、復習的な学習、科学的思考を働かせて学ぶ学習、創意工夫しながら学ぶ学習の3コース、延べ53講座

ウ 対象 川崎市生涯学習プラザに通うことのできる市内在住の3年生から6年生の児童

エ 講師 NPO法人教育活動総合サポートセンターに登録している教職経験者

	26年度	25年度	増減
受講児童数	319	281	38
延べ受講者数	760	1,008	△248

(4) 夏休み子ども陶芸教室(定款第4条第1項第1号)

夏休みに小学校5年生～6年生を対象とした陶芸教室を開催した。教職経験者や陶芸教室で学んだボランティアを講師として開催するなど、市民との協働による運営を行った。(8月5日、6日、20日)

	26年度	25年度	増減
参加者数	27	27	0

(5) 施設提供事業(定款第4条第1項第1号)

川崎市における生涯学習活動の拠点である生涯学習プラザにおいて、通年開館(年末年始を除く)による施設(多目的ルーム、フィットネスルーム、実習室、研修室、会議室等)の提供を行った。市民が「いつでも」「だれでも」、会議をはじめ、学習や活動の場として利用できるようにしてきた。年間345日にわたって貸館を提供することにより、施設を十二分に活用し、多くの市民の利用に供した。

区 分		401会議室	301会議室	201会議室	202会議室	101活動室	
件数	26年度	449	574	488	507	506	
	25年度	428	487	388	398	508	
	増 減	21	87	100	109	△2	
区 分		402フィットネス ルーム	302多目的 ルーム	203活動室	303研修室	B1実習室	合 計
件数	26年度	1,426	1,458	1,100	171	360	7,039
	25年度	1,416	1,406	957	138	363	6,489
	増 減	10	52	143	33	△3	550

注1 会議室、101活動室、研修室、実習室、の利用件数は午前・午後・夜間を各1件として積算、203活動室、多目的、フィットネスルームについては2時間単位を1件として積算。

(6) その他の事業（定款第4条第1項第1号）

- ①ランチタイムロビーコンサート 年間11回実施 来場者数 延べ665人
- ②なかはらママカフェ in 生涯学習プラザ（共催） 全9回 参加者延べ240人
- ③ホームページ作成教室（共催） 全1回 10人
- ④地域の寺子屋事業（寺子屋先生養成講座への協力） 全5回、参加者延べ204人
- ⑤地域の寺子屋事業（寺子屋ひよしの運営を支援） 全24回、参加者延べ911人

(成果・課題等)

・かわさき市民アカデミーは、平成26年度延べ受講者数が6,400人を超え、安定的な運営を行うことができた。当財団は協働事業として広報と会場確保、三者連絡会議の主宰等の役割を担った。アカデミー受講者の中からボランティア活動などの社会貢献をしようという動きもあり、地域の寺子屋事業へ講師派遣するなど地域貢献した。

・ふれあいサマーキャンプの花巻市コースでは、26年度も東日本大震災の影響の残る被災地も訪問し、現地の市民との交流により、子どもたちの心にしっかりと生きる力やいのちの大切さが刻み込まれたと思われる。その他のコースについても子ども同士の交流が各地でみられ、より絆が深まったと考えられる。

・古座川町からの6年生の児童の受け入れも5年目になり、学校訪問も定着し、子どもたち同士の交流を通じて、自治体同士の連携も深まったと思われる。

・キッズセミナーはNPO法人教育活動総合サポートセンターと連携・協力して小学校3年生から6年生を対象に、夏季休業中に体験活動等を通して、学習活動の充実を図ることを目的に実施した。25年度から広報活動を強化したことから、2年連続して参加児童数の大幅な増加が見られたが、参加者の少ない教室もあり引き続き内容の精選が課題である。

・今年度から始まった地域の寺子屋事業に対して、寺子屋先生養成講座の実施に協力し、幸区地域における「寺子屋ひよし」の運営を支援した。

・生涯学習プラザは、消費税増税に伴う料金改定を行ったが、会議室、活動室とも積極的な広報により、利用率が伸びた。

2 生涯学習に関する活動支援事業 (公1)

団塊の世代を中心としたシニア世代がこれまで社会で培ってきた豊富な経験や、知識・能力等人的資源を有効に活用し、地域社会が抱える多様な課題の解決や学校支援に向けた活動ができるよう、各種講座等を実施し、シニア世代が主体的に社会環境の変化に対応しながら様々な活動ができるよう支援した。

(1) シニア活動支援事業 (定款第4条第1項第2号)

① 地域協働講座 11講座 (短期7・長期4)

NPO 法人かわさき市民アカデミーと協働で、アカデミーで学習した知識・経験を地域還元するとともに、大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携し、シニア活動を支援するシニア活動支援講座 (地域協働講座) を開設した。

ア 前期

	26年度	25年度	増減
講座数	5	5	0
参加延べ人数	215	218	△3

A 川崎の美術館・博物館を10倍楽しむ法パートⅡ (まちづくり)

B 傾聴ボランティア講座 (福祉)

C ひと味ちがう映画講座 (大学連携)

D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その8 (企業連携)

E MY HISTORY-自分史をつくる (自分史)

イ 後期

	26年度	25年度	増減
講座数	6	6	0
参加延べ人数	243	203	40
前期後期合計	458	421	37

A 川崎の美術館・博物館を10倍楽しむ法パートⅢ (まちづくり)

B 傾聴ボランティア講座 (福祉)

C ひと味ちがう映画講座Part2 (大学連携)

D 地域社会に貢献している川崎の会社の人々 その9 (企業連携)

E 発達障がい理解を深めるⅢ 青年期から成人期の生活と就労 (子育て支援)

F 認知症を恐れない! 正しく知って安心して暮らそう (地域医療)

② 生涯学習ボランティア養成・派遣

パソコン講座やかわさき市民アカデミー、地域協働講座等の学習成果を活かして、学校支援ボランティアとして派遣するため、各種講座を実施。学識者を含むシニア事業推進会議を設置し、事業を円滑かつ効果的に進めた。

ア ボランティア養成講座

	修了者		
	26年度	25年度	増減
ア 小学校PC活用授業ボランティア養成講座 26年度は実施せず	—	25	—
イ 特別支援教育ボランティア養成講座 平成26年10月4日(土)～11月1日(土) 5回	29	22	7
ウ 保育ボランティア講座 平成26年5月22日(水)～6月5日(水) 4回	10	11	△1
合計	39	58	6

イ ボランティアの派遣

かわさき市民アカデミーの受講修了者による福祉施設でのボランティア活動支援や川崎市退職教職員などの人材を活かして地域学習グループ等への紹介、シニアシンポジウムによる市民のボランティア活動の事例発表等、シニア世代による地域貢献活動の支援を展開した。

		26年度	25年度	増減
小学校パソコンボランティア	回数	201	144	57
	派遣延べ人数	579	486	93
環境学習ボランティア	回数	23	22	1
	派遣延べ人数	83	88	△5
陶芸ボランティア	回数	3	3	0
	派遣延べ人数	61	24	37
特別支援教育ボランティア (※回数は派遣延べ人数と同数)	派遣延べ人数	1,008	—	1,008
合 計	回数	1,235	169	1,066
	派遣延べ人数	1,731	598	1,133
特別支援教育ボランティア 交流会	回数	2	1	1
	参加者数	29	10	19

ウ 推進会議

		26年度	25年度	増減
シニア活動推進会議 平成26年11月5日(金)				
	出席者	10	11	△1

エ シンポジウム

		26年度	25年度	増減
シニア活動講演会 テーマ「ひとりでもさいごまで在宅で」 講師 上野 千鶴子氏 平成26年12月12日(金)				
	参加者	142	85	57

(成果・課題等)

シニア活動支援事業は24年度から特別支援教育ボランティアの養成講座を開設し、学校支援の新たな活動を開始した。25年度から特別支援教育ボランティアへの実践フォローとして交流会を実施し、経験交流を行うなど活動の定着を図っており、26年度は特定資産の活用により延べ1,000人を超える特別支援教育ボランティアを学校へ派遣した。ボランティア活動への意欲の高い市民の参加が多く、学校支援活動の実践が広がっている。

地域協働講座では、26年度も傾聴ボランティア講座終了後、地域のボランティアグループに加入するなど受講生がその成果を地域活動につなげている。

また、小さな子どもがいる若い層への生涯学習への参加を促進するため保育ボランティア講座も開設し、ボランティアによる保育付の教室を実施した。

3 生涯学習に関する情報収集、情報提供事業(公1)

市民に幅広く情報の提供を行うため、生涯学習に係わる諸事業や人材情報を収集し、幅広い学習情報の活用に努めるとともに、広報活動の充実を図る。

- (1) 学習情報の収集及び学習相談（定款第4条第1項第3号）
 生涯学習人材情報の収集とその活用についての事業を推進した。
 主な事業 ・ 指導者・人材、情報の収集と活用
 ・ 学習指導者相談・紹介 ・ 学校支援センター（7区）との連携

- (2) ホームページ及び生涯学習情報誌による情報発信（定款第4条第1項第3号）
 ホームページでは、この法人の事業のほか川崎市の事業や民間事業者の情報を含め、生涯学習情報を広く市民に提供し普及啓発に努めるとともに、市内の公共施設とのリンクも行うなど、情報内容の充実を図ってきた。また、生涯学習情報誌は、情報の収集、提供及び調査研究の一環として、以下二種を発行した。新たにメールマガジンの発行を始め、生涯学習情報提供の充実を図った。

① ホームページ（定款第4条第1項第3号）

- 内 容 ・ 生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報
 ・ 市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	26年度	25年度	増減
更新回数	482	423	59
web閲覧回数	52,422	48,760	3,662
講座・イベント情報 (Web版)掲載数	599	212	387

ホームページアドレス <http://www.kpal.or.jp/>

② 生涯学習情報誌の発行（定款第4条第1項第3号）

ア ステージアップ

- 内 容 ・ 生涯学習の支援及び財団事業の広報
 ・ 市内の公共・民間の生涯学習・文化情報の提供
 ・ 市民グループの活動取材
 ・ さまざまなジャンルで活躍している市民へのインタビュー
 ・ 市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	26年度	25年度	増減
発行部数（A4判 8ページ）	1回10,000部	1回10,000部	0
発行回数	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)	0
配布先 生涯学習関連施設及び 金融機関などの民間施設	687	761	△74

イ かわさきの生涯学習情報（KSJ）

- 内 容 ・ 生涯学習情報の提供及び財団事業の広報
 ・ 市内の公共施設等の情報や文化情報の提供
 ・ 市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	26年度	25年度	増減
発行部数（A4判 4ページ）	1回5,000部	1回4,800部	200
発行回数	年8回(奇数月 と4月・10月)	年8回(奇数月 と4月・10月)	0
配布先 生涯学習関連施設及び 金融機関などの民間施設	513	581	△68

③ メールマガジン（定款第4条第1項第3号）

内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報

	26年度	25年度	増減
発行回数	12	5	7
発信数	84	63	21

(成果・課題等)

ホームページには、画像や動画を取り入れ、生涯学習情報や生涯学習プラザの施設を閲覧者に見やすいように分かりやすいように整理した。

生涯学習に関する情報提供では、講座やイベントの情報、関係リンク先リストも大幅に充実させてきた。また、イベント等の情報量の増加に伴い「講座・イベント情報検索システム」構築の準備検討を進めてきた。メールマガジンは毎月1回、市民への情報提供を行っている。

『ステージアップ』は「寺子屋事業」や「健康・スポーツの取組」など、市内の生涯学習活動を多岐にわたって掲載するよう努めた。配布場所は、配布先が減少したことや配送のダブリなどを整理したため、昨年度より数を減らしている。

『かわさきの生涯学習情報（KSJ）』は、情報掲載施設は安定してきているが、配布先の減少があった。来年度は、両誌の内容充実はもちろんのこと、配布先の拡充にも力を入れたい。

II 施設運営管理受託事業（公2）

1 指定管理施設受託事業（定款第4条第1項第4号）（公2）

この事業は、生涯学習に関連する施設の管理運営を行い、地域の多様なニーズに対応した特色ある活動を展開し、市民の学習・文化活動、スポーツ活動及び多彩な市民活動を通して、市民の健康な心と体力づくりや文化芸術活動の推進といった市民の生涯学習の振興と、活力に満ちた市民自治社会の構築を目的とした事業である。

(1) 青少年の家（NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営）

青少年をはじめ幼児から青少年指導者に至る幅広い市民の方々のための宿泊・研修施設として、様々な体験活動、ボランティア活動、青少年の居場所や活動拠点として、青少年の健全育成を図ってきた。学校連携事業、青少年仲間づくり事業、指導者養成事業等の多様な体験活動を通して、また、地域の高齢者や乳幼児との交流を通して、青少年の「生きる力」を育てている。

ア 利用状況

	26年度	25年度	増減
延人数	40,598	40,819	△221
団体数	870	861	9

イ 事業実施状況

事業名	参加者数			
	26年度	25年度	増減	
◆施設提供（施設活用）事業				
・プール開放 全6回	351	309	49	
◆学校連携事業				
・ほのぼのスクール(学社融合・通学合宿) 「自分でやろう！みんなとやろう！」4泊5日	40	52	△12	
・セカンドスクール	年間通して随時	—	—	
・学校で計画する行事 体験的な学習活動などの共同活動	年間通して随時	—	—	
・ふれあい体験学習(不登校対策・特別支援教育・宿泊体験活動)日帰り2回、1泊2日を3回	87	122	△35	
・教育相談事業	年間通して随時	—	—	
◆地域連携や支援、仲間づくり事業				
・子ども運営委員会 委員10名年間6回	50	48	2	
・レッツチャレンジASOBI 全7回	153	180	△27	
・こども仲間づくり 「こどもエコチャレンジクラブ」全12回	384	384	0	
・特別企画事業 「放課後おもしろクラブ」	i おもしろ理科教室 全6回	119	238	回数減
	ii おもしろ造形教室全10回	100	90	10
	iii お箏体験教室 全1回	18	238	回数減
・「川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部」	366	381	△15	
・第17回青少年の家フェスタ 「届け 未来の君へ」	1,300	1,100	200	
・シニア卓球教室 毎週火曜日	年間参加者数	1,247	820	417
◆自主企画事業				
・親子人形劇場「三枚のおふだ」全1回	61	297	回数減	
・よちよち歩きの子集まれ(「親子リトミック」を含む)	972	887	85	

(成果・課題等)

施設利用については、事前に活動プログラムの調整など相談の機会を作ることで活動の満足度を高めることができた。特別支援学校や支援学級の利用が増えてきたこともあり、食事時間や入浴時間に融通性を持つなど生活スタイルに合わせたルールの見直しもしてきた。また、県外や外国人の利用も増えつつあり、サービスの在り方についても研修に加えてきた。

子ども運営委員会では子どもたちの意見を取り入れた中から、青少年の家のキャラクターを作ったり、看板に絵を描いて楽しい雰囲気を出したりして施設のイメージアップを図るなどしながら活動も少しずつ充実してきている。

子どもたちを対象とした事業が多いことから、安全第一を心がけてきたが、事故なく計画に沿って実施することができた。事業の実施に向けての事前の準備を十分に行うと共に、関係する学校や諸団体、関係機関と連携を取りながら進めてきた。また、参加する子どもの保護者への説明会や参観の機会も設定しながら理解と協力を得てきた。事業終了後の参加者や教員、保護者のアンケートの中に「みんなと仲良くなれた」「貴重な体験をさせてもらった」など感謝と今後も継続してほしいという意見が多かった。

さらに、小学生や中学生の参加者が高校生になってからユースワーカーズ倶楽部の部員として活躍していくサイクルも見られ、ボランティアが育つ環境としても大切に考えていきたい。

また、利用者の利便性の確保のために、ホームページの全面更新、申請書送付の電子化など改善を図ってきた。

施設の老朽化に伴う消防設備等の修繕について、宿泊者等利用者の安全に配慮して行った。

(2) 子ども夢パーク（NPO法人フリースペースたまりばとの共同運営）

「川崎市子どもの権利に関する条例」を具現化する子どもの活動拠点とし、18歳未満の子どもたちが中心となって自分たちで、自由に遊びながら使い方を考え、つくり続けていく施設である。「冒険遊び場（プレーパーク）」の運営と不登校の児童・生徒の居場所としての「フリースペースえん」の運営を柱としており入場料は無料の施設である。「だれもが自分らしくいられるように」を特色に、多彩で多岐にわたる事業を実施し、子どもたちの夢を育み、子どもたちの健やかな成長を目指してきた。

ア 利用状況

	26年度	25年度	増減
延人数	91,437	93,550	△2,113
団体数	908	749	159

イ 事業実施状況

事業名	参加者数		
	26年度	25年度	増減
◆イベント事業			
・GWスペシャルまいにちがプレーパークの日	1,533 (5日間)	2,928 (10日間)	△1,395
・天下一ベーゴマ大会	30	19	11
・じゃがいもの苗植え	30	20	10
・さつまいもの苗植え	7	14	4
・夏野菜の苗植え	8	12	4
・じゃがいも掘り・収穫祭	45	50	△5
・さつまいも掘り・収穫祭	40	40	0
・おやつピザの日（26年度は年1回実施）	50	110	△60
・あそぼうパン（26年度はおやつピザ）	115	122	7
・ドリームシンフォニー（夢♪交響楽）	293	実施せず	—
・夢パまつり2014 ～祝11周年～水遊びスペシャル	2,090	2,248	158
・夢パ温泉づくり	35	15	20
・KUJIROCK2014 SUMMER Vol. 28	320	312	8
・KUJIROCK2014 WINTER Vol. 29	285	223	62
・KUJIROCK2014 SPRING Vol. 30	270	440	△170
・ゆるROCK（26年度は年1回実施）	35	60	△25
・かわさき子どもの権利の日のつどい	2,517	3,120	△603
・こどもゆめ横丁		1,227	1,290
・クリスマスイベント	283	実施せず	—
・初夢！新春イベント ～もちつき・どんど焼き・昔あそび～	880	813	67
◆子どもの遊び・活動に関わる事業			
・親子でもっとあそぼう会	194	450	△256
・おはなしおはなしパーク	142	390	△248
・ベーゴマの日	178	400	△222
・野球大会	77	91	△14
・スタジオ講習	180	229	△49

・スタジオ利用	4,595	5,434	△839
・スタジオの会 (26年度は年7回実施)	95	90	5
・おさがりバザール	1,580	2,100	△520
・野染めをしよう	45	45	0
◆連携事業（子ども・市民・地域・行政等）			
・プチ保養in川崎(福島の子どもたちと遊ぼう！)	70	90	△20
・川崎サマースクール2014 福島の子どもたちが遊びに来たよ！（主催：川崎市民の会）	71	91	△20
・福島親子in川崎 夢パークで遊ぼう！（主催：福島の子どもたちとともに）	70	60	10
・親子でもっとあそぼう会 講演会「ゆる親」のすすめ（主催：支援委員会）	60	50	10
・子ども会議交流会（主催：川崎市子ども会議）	30	30	0
・冒険遊び場全国一斉開催の日	1,637 (9日間)	1,949 (9日間)	△312
・3月11日「ふるさと」を歌おう	50	22	28
・遊び場づくりシンポジウム ～身近な地域に遊び場をつくろう～	34	25	11

(成果・課題等)

平成26年度は、新たな次のステップへ向け夢パークのありようをスタッフ間で再確認していく年となった。

各事業については基本の4大イベント（ドリームシンフォニー、夢パまつり、こどもゆめ横丁、初夢！新春イベント）をはじめ、子どもを中心とした利用者と一緒ににつくりあげる夢パークという基本姿勢を示しながら実施することができた。

特に「こどもゆめ横丁」は「かわさき子ども権利の日のつどい」と同日開催し、子どもたちが自分でお店をつくり商売をするいつもの横丁に加え、シールラリーや講演会など、多くのコンテンツが同時に実施され、盛りだくさんの一日となった。

平成26年度は来場者数こそ10周年記念事業を多く実施した昨年度より減少したが、夢パークの内面を見つめこれまで培ってきた10年から、次の一歩へ向け夢パークがどう向かっていくべきかを考えるための一年となった。

10月には下村文部科学大臣の視察もあり、全国的にも注目されていることから、施設および事業の更なる充実に努めたい。

(3) 大山街道ふるさと館（NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営）

二子・溝口は江戸期、東海道の脇往還（大山街道）の宿場町として大いに賑わった古い歴史をもっている。ふるさと館は、こうした大山街道に関わる地域の歴史、民俗、自然に関する資料やゆかりの文化人の作品展示を行うとともに、大山街道にまつわる文化講演会や講座を開催し、高津区民はもとより川崎市民の子どもから高齢者までを対象に、地域の生活・文化などの理解と地域への愛着心の高揚を図ってきた。

指定管理については、平成26年度から平成30年度までの5年間でNPO法人教育活動総合サポートセンターとともに共同運営事業体となり当館を運営する。これからの5年間の取組は、「歴史をつなぐ 人をつなぐ 大山街道ふるさと館」を運営・管理の基本方針の理念とし、これまでの郷土の学びをより充実させるとともに、大山街道をとりまく地域の活性化に取り組む。具体的には、よりわかりやすく見識が深まる「博物館事業」、郷土理解や大山街道の歴史的価値等をより深め、広げる取組としての「歴史文

化探究事業」、大山街道や大山街道を含む地域の活性化・発展に寄与するための「地域活性化事業」に取り組んでいく。

本年度が5年間のスタートの年となった。これまでの有益な講座等を継承・発展させ、新しい講座等を展開するとともに、施設面での改善等も進めた。

ア 施設利用状況

	26年度	25年度	増減
延人数	30,697	32,891	△2,194
利用件数	1,545	1,849	△304

イ 常設展示「大山街道 ふるさとの歴史・民俗・自然展」

延人数	8,335	6,624	1,711
延日数	312	357	△44

ウ 事業実施状況

事業名	参加者数		
	26年度	25年度	増減
◆博物館事業			
・第1回企画展「趣味の作品展」～高津区老人クラブ連合会作品展～ 6月20日～23日	300	228	72
・第2回企画展「ある郷土史家のみたふるさと高津～上田恒三氏寄贈史料から～徴兵令による溝ノ口の当時の様子」 6月28日～7月27日	1,629	932	697
・第3回企画展示「地域が創出するカルチャー展」～趣味が創り出す感動の世界～ 2月21日～27日	1,012	335	677
<ul style="list-style-type: none"> ・ミニふるさと企画展（廊下展示） ①「玉川電鉄の歴史」 ②「溝ノ口村の歴史」 ③「二子村の歴史」 ・アーカイブ展示（ふるさと高津の魅力再発見） 2月21日～27日 ・古文書・資料収集ならびに管理 ・リファレンス（職員研修、資料映像化準備） 			
◆歴史文化探究事業			
・第1回歴史探究講座 「石造物を見て歩くための基礎知識1」9月13日	59	71	△12
・第2回歴史探究講座 「石造物を見て歩くための基礎知識2」10月18日	40	53	△13
・第3回歴史探究講座 「大山道の石造物を訪ねて」 2月21日	57	33	24
・街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」～深秋の大山街道を訪ねて～ ①10月29日 ②11月12日 ③11月26日	64	55	9
・第1回ふるさと発見講座「やさしいかわさきの歴史」～かわさきの古代から近代～5月17日	51	新規事業	—
・第2回ふるさと発見講座「川崎市が生んだ詩人佐藤惣之助」～華やかな散歩 12月17日	53	79	△26
・第3回ふるさと発見講座「高津のまちを歩きませんか」～溝ノ口から坂戸を巡る～ 1月17日	27	新規事業	—

・子ども大山街道探検クラブ 毎月第3水曜日 二ヶ領用水・溝口神社・二子神社見学、二ヶ領用水清掃、昔遊び、研究発表会 など	427	314	113
・ふるさと子ども出前教室（5校） 高津小(6月)、東高津小(7月)、登戸小(11月)、坂戸小(12月)、久地小(1月)	761	589	172
・中学生のための郷土理解講座 中学生対象 8月8日	30	21	9
・街道学習受入事業（小中高生、大学生への資料提供、助言等随時） 随時			
◆地域活性化事業			
・大山街道地域コーディネーター連絡会	11回	新規事業	—
<ul style="list-style-type: none"> ・大山街道サポーターズクラブ準備会 ・みちまちラウンジ環境整備 ・みちまちショップ支援 ・かえるプロジェクトへの協力 ・ふるさと館まつり（企画展、歴史探究講座、アーカイブ展） ・大山街道フェスタへの協力（会場提供、ふるさと館まつり） ・高津区民祭への協力（施設提供、企画展、企画展記念講演会） ・久本小の寺子屋事業、その他の事業への協力（歴史講座講師） ・高津図書館との連携 			
◆その他の事業			
・大山街道ガイドブック 「訪ねて楽しい大山街道」の販売等	268部	430部	△162
・中庭へのベンチ設置など環境整備			

(成果・課題等)

<p>・博物館事業、歴史文化探究事業、地域活性化事業を年度当初の計画通り実施することができた。</p> <p>・博物館事業は、常設展のほか、展示室での3回の企画展、ならびにスロープを活用しての3回のミニ企画展（ふるさと発見展）などを展開した。大山街道と地域との歴史・文化的な関連を来館者にご理解いただけるよう、二子・溝口に焦点をあてた展示等を工夫した。来年度は、映像機器を活用した展示の工夫が課題となる。</p> <p>・歴史文化探究事業では、歴史探究講座や街道学習講座（街道歩き）などの講座では募集定員をほぼ満たす状況で展開でき、大山街道の歴史等についての市民の関心の高さがあらためて確認できた。高津の町歩きの参加者からは、「このような講座を開催していただいて、最近この地域に住み始めた人にとってうれしい」などの声が聞かれた。</p> <p>児童生徒の郷土理解をねらいに実施している「ふるさと子ども出前授業」「子ども大山街道探検クラブ」「中学生のための郷土理解講座」なども成果をあげ実施できた。</p> <p>・地域活性化事業は、「地域コーディネーター事業」を本年度から新しく始め、3名の地域コーディネーターと連絡を密にしながら、ふるさと館と地域との交流を深め、地域活性化をめざした。27年度は、地域コーディネーターに支援いただいたのサポーターズクラブの活動が課題となる。また、大山街道フェスタへの参加事業として実施した「地域が創出するカルチャー展」も盛況に行われた。そのほか、地域の団体や小中学校からの講師の依頼への対応や高津図書館との交流などに取り組んだ。</p> <p>・施設管理については、中庭や談話室、玄関等における改善を進め、利用者がより快適に来館時間を過ごせるよう工夫した。また、1階、2階の空調設備の全面改修工事を行い（1月5日～2月18日）、冷暖房環境の向上が図れたが、1か月半にわたり全面的に休館したため利用件数の減、利用者数の減になった。</p>

- 2 その他指定管理施設受託事業以外の関連自主事業
平成27年度以降の指定管理再申請等に向けて検討を行った。
- ①川崎市青少年の家事業検討委員会
 - ②川崎市子ども夢パーク事業検討委員会
 - ③川崎市市民ミュージアム事業検討委員会

Ⅲ 生涯学習及び情報に関する管理運営受託事業（公3）

この事業は、生涯学習に関する活動及び生涯学習に関する情報の提供を行うことで、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図ることを目的とした事業である。

1 市民ミュージアム学芸業務（定款第4条第1項第5号）

美術館と博物館の機能を併せ持つ川崎市民ミュージアムにおいて、川崎市から学芸業務を受託し、企画展や常設展の開催、実習等の体験学習を提供し、市民の文化芸術の振興を図った。

平成26年度は市制90周年にあたり、博物館事業、美術館事業を通して市制90周年記念事業として川崎市に関連する展示などの事業に積極的に取り組んだ。

① 企画展

ア 企画展示室1・企画展示室2

	26年度	25年度	増減
総入場数	23,847	44,786	△20,939

a 横尾忠則 肖像図鑑	参加者数	6,614人
b 市制90周年 近代川崎人物伝	〃	2,914人
c いろいろ、そうそう一田中岑	〃	4,663人
d 日清・日露戦争とメディア	〃	2,074人
e 第48回かわさき市美術展	〃	2,338人
f 第47回かわさき市美術展最優秀作品展	〃	1,289人
g 2014川崎フロンターレ展	〃	3,955人

② アートギャラリー及び博物館展示 ほか

ア アートギャラリー

第一期

a 顔

第二期

ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI

b トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ50年展

c 水野英子展 わたしのマンガの描き方

d 下川凹天と日本近代漫画の系譜

第三期

e 日本のグラフィックデザイナー 勝井三雄：色光のゆらぎ

f のぞき⇄のぞかれ

g 本の美術

イ 博物館展示室

- a 民俗 原始 古代 中世 近世 近現代
- b マンスリー展示（毎月テーマを設定し資料を紹介する）
 6月 3日～ 6月27日 甦った文化財―修復Before/After―
 6月28日～ 7月25日 飯盛女―宿場で働く女性―
 7月26日～ 8月22日 夏休み子どもマンスリー お台場―15年前のウォーターフロント―
 8月23日～ 9月26日 村のお殿様Ⅰ―土橋村・久本村の領主 旗本長坂家―
 9月27日～10月24日 オリンピック 6年後再び東京で
 10月25日～11月21日 長州征伐―幕末川崎宿の大混乱―
 11月22日～12月28日 村のお殿様Ⅱ―岡上村の領主 旗本大久保家―
 1月 4日～ 1月12日 初春マンスリー カルタとスゴロク
 3月17日～ 4月17日 江戸時代の海難事故―川崎沖難破一件―
- c 近現代展示室 特集展示
 6月 3日～ 8月15日 川崎市誕生90年！
 8月16日～11月14日 川崎に生きた蘭方医
 11月15日～ 1月12日 川崎の海と漁業組合
 3月17日～ 5月15日 戦後70周年PART1 川崎大空襲

ウ 館外展示

- a 川崎の歴史と文化 川崎市役所第三庁舎 1階ロビー
 第9期 4月 7日～ 6月20日 「シリーズ川崎の遺跡Ⅰ 加瀬台古墳群」
 第10期 6月23日～ 8月29日 「市制90周年 川崎市の成り立ち」
 第11期 9月 1日～11月28日 「シリーズ川崎の遺跡Ⅱ 長尾台北遺跡」
 第12期 12月 1日～ 1月30日 「御札」
 第13期 2月 2日～ 3月27日 「考古発掘速報展」

③ 映像ホール・ミニホール

ア 映像ホール上映事業

	26年度	25年度	増減
総入場数	3,797	12,131	△8,334

- a シネマテーク・コレクション インドの映像詩人 G,アラヴィンダン
 b 企画展「横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS」関連上映 横尾忠則 映画曼荼羅
 c トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ50年
 d 日本のドキュメンタリー vol.2
 e 企画展「日清・日露戦争とメディア」関連上映
 f 特集上映 脚本家 笠原和夫
 g 映画上映+現代アート 藤村豪&内野清香 ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ
 h シネマテークコレクション レンフィルム -ペレストロイカ以前/以後 -
 i 親子上映会 童話アニメーション

イ ビデオ・DVD 定期上映 映像ホール（毎週水曜日）（無料）

	26年度	25年度	増減
総入場数	303	2,062	△1,759

- A 市政ニュース映画で見る川崎・川崎の民俗行事
 B 祭りの映像記録 上映

ウ ビデオ・DVD 定期上映 ミニホール (無料)

ビデオ・DVD 上映(毎月 第4火曜)

A 市政ニュース映画で見る川崎・川崎の民俗行事

B 祭りの映像記録 上映

エ ミニホール

A アニメーション 上映(毎週金曜日)

手塚治虫特集「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」

B 日本映画傑作選 上映(毎月第4火曜日)

昭和の喜劇役者たち「エノケン千万長者」「ロッパ歌の都に行く」など

C 美術ビデオ 上映(毎月第3土曜日)

「美術のみかた」シリーズ 「オルセー美術館」シリーズ

④ 教育普及との連携事業

	26年度	25年度	増減
総参加数	15,868	16,013	△145

a 出前授業(出張プログラム)	参加者数	2,437人
b 歴史散策「久本・末長周辺をめぐる」	〃	15人
c 遺跡めぐり「枳形の遺跡を歩く」	〃	12人
d 地域のお祭りを見る「蛇作り」	〃	4人
e 学芸員研究ノート(9回)	〃	延べ177人
f 古文書講座(3回)	〃	延べ136人
g 紋切りワークショップ	〃	32人
h 博物館講座(3回連続)	〃	延べ59人
i 見学実習(大学学芸員資格課程)	〃	392人
j 博物館実習	〃	11人
k 社会科教育推進事業	〃	10,503人
l 美術館系プログラム	〃	49人
m ギャラリー・企画展等関連講座・イベント等		
「近代川崎人物伝」展関連	〃	145人
「2014川崎フロンターレ展」関連	〃	1,162人
「横尾忠則 肖像図鑑」展関連	〃	417人
「いろいろ、そうそう一田中岑」展関連	〃	186人
「日清・日露戦争とメディア」展関連	〃	131人

⑤ 調査・研究

ア 鶴見大学との保存処理に関する共同研究	
イ 多摩川流域遺跡群研究会との井田伊勢台古墳群調査	
ウ 考古・歴史・民俗の収蔵資料に関する調査・研究	
エ 研究紀要作成	1,000部
オ 学習院大学との漫画資料に関する共同研究	
カ 新たな川崎ゆかりの作家・人物に関する調査	

(成果・課題等)

博物館部門では市制90周年記念事業の一つとして企画展「近代川崎人物伝」を開催した。これまで歴史の表舞台で取り上げられることが少なかった川崎の地域人にスポットをあて、政治・産業・文化・地域振興などの分野で近代川崎の発展の礎を築いた人びとの業績から川崎の近代史を紹介し、好評だった。そのほか、マンスリー展示や館外展示など、常に新たな視点から川崎の歴史と文化を紹介することができた。さらに、生涯学習の拠点としての博物館の役割を果たすべく、教育普及担当と連携して多彩な事業を実施した。特に、小学校への出張授業は年々利用が増加している。調査研究においては、前年に引き続き、鶴見大学との共同研究を進め、成果を上げることができた。また、多摩川流域遺跡群研究会との井田伊勢台古墳群調査を実施し、現地説明会には多くの市民が集まった。

美術館部門では、現代美術界の重鎮である横尾忠則の企画展「横尾忠則 肖像図鑑」を開催し市内外への幅広い層へのアピールを行った。「田中岑展」は、川崎を活動拠点として活動してきた画家の足跡を回顧し、戦後の美術史に位置づけようというものであり、作家の再評価の機運を作る重要な展覧会となった。アートギャラリーでは、夏休みに、ギャラリー全体でマンガ・アニメを特集した「ナツ・アニメ・マンガ in Kawasaki」を開催し、この分野に強い当館の姿勢を鮮明に打ち出すことができた。その中の、「トムス・エンタテインメント」展は、映像ホールでの企画上映と連動させて集客を図った。また、「下川凹天」展は、学習院大学との共同研究の成果発表となり、日本の漫画史に新たな光を当てる充実した内容となった。映画では、現代美術の展示と上映を組み合わせた実験的な試みを映像ホールで行った。

【市民ミュージアム全体】

企画展の入場者数は大幅に減じているが、これは昨年度が25周年で大規模な企画展を開催したこと。また、26年度は空調改修工事に伴い、4・5月、1月中旬から3月中旬に休館し、実質年間8ヶ月の開館であり、企画展数も減じたことが大きな要因となっている。しかしながら、集客は大きな課題であることから今後も工夫を重ね努力していきたい。

2 青少年創作教室（定款第4条第1項第5号）

陶芸、絵画（油絵）等の美術・工芸を中心とした創作活動を通じて、青少年の情操を養うとともにその健全な育成を図る事業を実施した。

- ・ 場所：生田中学校特別創作活動センター
- ・ 参加費：実費

ア 夏休み創作教室

教室名	回数	26年度		25年度	増減
		参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	
ピンホールカメラ	3回	15	45	51	△6
陶芸	4回	10	40	48	△8
工作1	3回	20	60	75	△15
工作2	3回	12	36	93	△57
合計	13回	57	181	267	△86

イ 冬の創作教室

教室名	回数	26年度		25年度	増減
		参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	
陶芸	4回	21	84	72	12
油絵	3回	35	105	99	6
合 計	7回	56	189	171	18

年 間 合 計	20回	113	370	438	△68
---------	-----	-----	-----	-----	-----

(成果・課題等)

青少年創作教室は、冬期の延べ参加者数に若干増加がみられたが、夏期は昨年度同様参加者が減少している。会場が生田中学校内にある特別創作活動センターであること、昨年度から受講料を徴収することになったことなどが影響していると考えられる。市の計画では、平成27年度をもって青少年創作教室委託事業を廃止する方向になっており、今後、地域の自主的な活動として実施できるかどうか地域の方々と協議していく必要がある。

3 ふれあいネット「生涯学習情報」管理（定款第4条第1項第5号）

生涯学習に関する情報（施設、講座、催し物、団体・グループ、指導者・人材）を収集・入力し、市内47カ所の生涯学習関連施設に設置した「ふれあいネット」を通して、情報提供を行った。

	26年度	25年度	増減
① 利用件数	12,681	18,740	△6,059
② 入力件数	2,082	4,141	△2,059

③ 情報システム関連事業

- ・ 広報 ステージアップでの広報
- ・ 神奈川県情報システムへデータベースの提供

IV 収益事業

1 生涯学習に関する多彩な体験講座事業 (収1)

この事業は、生涯スポーツや文化・生活といった生涯学習の各分野において、多様な学習ニーズに応じた体験教室、講座及び講習会等を生涯学習プラザで開催することにより、市民が健康で生きがいを持ち、創造性と個性を生かすことのできる活力ある市民社会の実現を目指す事業である。

(1) 生涯スポーツ事業 (定款第4条第1項第1号) (収1)

教室名	コース数	講座数	参加者数	延べ人数		
				26年度	25年度	増減
エアロビクス◆	3	32	111	933	835	98
ボディメイクエクササイズ◆	3	32	81	685	733	△48
気功太極拳	6	72	210	1,973	2,084	△111
ストレッチ健康体操	3	36	51	437	361	76
ヨーガ	6	72	257	2,446	2,594	△148
たのしいフラダンス	3	36	75	704	719	△15
リズム&ストレッチ体操	3	36	82	776	684	92
親子リトミック	6	60	183	1,324	1,346	△22
ママのピラティス	3	36	64	591	738	△147
合計	36	412	1,114	9,869	10,094	△225

*親子リトミックは親子一組でカウントしている。 ◆は保育付き

(2) 文化生活事業 (定款第4条第1項第1号) (収1)

① 陶芸教室

ア 「プラザ陶芸教室」水・土曜日

		26年度	25年度	増減
・手びねりコース (12回) 3コース	参加者数	72	94	△22
	延べ人数	864	1,128	△264
・ろくろコース (12回) 3コース	参加者数	65	64	1
	延べ人数	780	768	12

イ 「陶芸一般開放教室」木・金曜日

		26年度	25年度	増減
・手びねりコース (3回) 24コース	参加者数	227	296	△69
	延べ人数	681	888	△207
・ろくろコース (3回) 24コース	参加者数	470	489	△19
	延べ人数	1,410	1,467	△57

② 文化教室

	教室名	26年度		25年度	増減
		受講者数	延べ人数	延べ人数	
Ⅰ期 5月13日～7月15日	うたの教室	24	98	※	※
	フラワーアレンジメント	16	72		
	写真	19	85		
	俳画	11	46		
	アロマテラピー	22	107		
	ゆかた着付	13	39		
Ⅱ期 10月7日～12月17日	うたの教室	20	79		
	切り絵	10	48		
	写真	20	92		
	フラワーアレンジメント	18	83		
	アロマテラピー	21	87		
	ハワイアンキルト	7	35		
Ⅲ期 2月12日～3月27日	うたの教室	25	66		
	文学散歩	23	65		
	写真	20	53		
	切り絵	14	38		
	ハーブ	23	62		
	フラワーアレンジメント	17	46		
合計		323	1,201	1,191	10

※25年度の各教室の人数は26年度と期・教室名が異なるので、合計のみ記した。

③ パソコン教室（共催）

NPO法人「RKH研究所」との共催でパソコンの基本的な使い方から応用操作までの講習を実施した。全37回、参加者延べ162人

2 生涯学習関連施設職員研修事業（収2）

(1) こども文化センター等職員研修業務事業（定款第4条第1項第5号）

この事業は、川崎市の生涯学習関連施設である児童館職員の質的向上を目指して、職員研修について受託するものである。

①研修期間 平成25年6月26日～12月18日

②研修内容

回	内容	回数	対象者
1	職員へのマネジメント能力①（コーチング）	1	館長・リーダー
2	職員へのマネジメント能力②（パワーハラスメント）	1	全職員
3	地域とのマネジメント能力①（地域との連携を深める）	1	全職員
4	地域とのマネジメント能力②（アサーション）	1	全職員
5	障害児への対応	1	全職員
6	大人の心理について①（保護者の心理を学ぶ）	1	全職員

7	大人の心理について②（クレーム対応）	1	全職員
8	外国につながる子どもたちの育ちの支援	1	全職員
9	児童虐待について	1	全職員
10	子どもの心の理解・保護者への対応について	2	全職員
11			
12	中高生の心理の理解・居場所について	1	全職員
13	危機管理・安全管理能力	2	全職員
14			

③受講者数

	26年度	25年度	増減
受講者数	1,400	856	544

(成果・課題等)

文化教室は、開設して3年目となり受講者数も安定してきている。また、スポーツ教室は、昨年度と比べ参加者数が若干減少したが、子連れでも参加できる親子リトミックや保育付きのピラティスなど若い世代の参加も定着してきた。

受託事業については、関心の高い内容を提供したことから、受講者も熱心に参加し延べ参加者数が増加した。

V その他この法人の管理運営に関する事業（定款第4条第1項第5号）

- 1 他の機関、団体が行う事業への協力（定款第4条第1項第5号）
 - (1) NPO法人RKH研究所 各種パソコン関連講座開催への共催
 - (2) 第24回体操フェスティバルかわさき2014開催に伴う後援
 - (3) ゆりがおか児童合唱団 第38回定期演奏会の開催に伴う後援
 - (4) かわさき体操の集い2014の開催に伴う後援
 - (5) 川崎市スポーツ指導者協議会主管事業の後援
 - (6) かわさき市民フロンティア体験講座の開催に伴う後援
 - (7) 25年度おと絵がたり本公演の開催に伴う後援
 - (8) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザの共催
 - (9) KAWASAKI しんゆり映画祭2014開催に伴う後援
 - (10) 2014少年の祭典ボレロの開催に伴う後援
 - (11) 第17回記念ニッタク杯ひよこ&たまご卓球大会開催に伴う後援
 - (12) 健康体力フェア2015の開催に伴う後援
 - (13) ホームページ体験一日講座開催への共催
 - (14) 図書館フォーラムかわさき2014の開催に伴う後援

2 職員研修（定款第4条第1項第5号）

開催日	内容	対象	参加数
4月1日	生涯学習財団について、サービス、庶務、経理事務等	財団職員 (新規採用職員)	10
5月1日	生涯学習財団について、サービス、庶務、経理事務等	ミュージアム 新規採用職員	3
5月20日	パソコン研修 Word 中級	財団職員	14
5月28日	ミュージアムの経理事務	ミュージアム職員	13
6月2日	パソコン研修 Word 上級	財団職員	14
6月19日	経理事務手続きについて コミュニケーション能力について	財団職員	11
7月9日	応急手当研修、普通救命講習	財団職員	9
9月4日	ホームページ(CMS)研修	財団職員	7
9月29日	パソコン研修 Excel 基礎編	財団職員	12
10月20日	パソコン研修 Excel 応用編	財団職員	10
11月28日	企画力研修	財団職員	10
12月12日	情報管理研修	財団職員	10

3 消防・防災訓練

(1) 平成26年8月25日(月) 9時15分～9時45分

- ①訓練種別 避難訓練、終了後 起震車を全員で体験
- ②参加者数 30名
- ③発災想定 地震発生による避難誘導とその後の対応
- ④訓練内容
 - ア 非常放送設備の取り扱い
 - イ 避難誘導
 - ウ 救助、応急処置
 - エ 非常持ち出し、設備点検
 - オ 帰宅困難者対応訓練

(2) 平成27年2月23日(月) 9時15分～10時00分

- ①訓練種別 総合訓練
- ②参加者数 26名
- ③発災想定 プラザ3階給湯室から出火
- ④訓練内容
 - ア 火災受信機、非常放送設備の取り扱い方法
 - ア 通報・避難誘導訓練
 - イ 消火器による消火訓練
 - ウ 消火栓ホースによる放水訓練
 - エ 避難器具（オリロー、緩降機）による避難訓練

4 職員採用（定款第4条第1項第5号）

- (1) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成26年5月1日採用 公募3名
 - ①・募集期間 平成26年2月26日～3月24日
 - ・応募者 13名 採用2名（民俗・漫画）
 - ②・募集期間 平成26年3月14日～4月14日
 - ・応募者 7名 採用1名（映画）
- (2) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募2名
 - ・募集期間 平成27年1月9日～2月10日
 - ・応募者 26名 採用2名（現代美術・漫画）
- (3) 学芸室（常勤専門嘱託職員・主任）平成27年4月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成27年1月15日～2月17日
 - ・応募者 9名 採用1名（映画）
- (4) 子ども夢パーク（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募3名
 - ・募集期間 平成27年10月22日～1月9日
 - ・応募者 6名 採用1名
- (5) 子ども夢パーク第2次募集（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募2名
 - ・募集期間平成27年1月29日～2月18日
 - ・応募者 2名 採用1名
- (6) 総務室1名・事業推進室1名・学芸室総務課1名・青少年の家1名・子ども夢パーク1名（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募5名
 - ・募集期間平成26年12月10日～2月12日
 - ・応募者 29名 採用5名
- (7) 総務室長・総務係長（常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 推薦2名
- (8) 総務室1名・事業推進室3名（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 推薦4名

VI 評議員会等の開催状況について

	開催年月日	主な決議事項等
評議員会	平成26年 6月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決議事項 ・ 平成25年度決算に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について ・ 理事の選任について
理事会	平成26年 5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決議事項 ・ 平成25年度事業報告の承認について ・ 平成25年度決算に係る計算書類の承認について ・ 行政庁への定期提出書類の承認について ・ 第1回評議員会（定時）の開催について ・ 理事の選任議案について ・ 平成26年度収支補正予算について
理事会	平成26年 6月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決議事項 ・ 理事長（代表理事）の選定について ・ 副理事長（業務執行理事）及び常務理事（業務執行理事）の選定について
理事会	平成26年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決議事項 ・ 平成26年度第二次収支補正予算（案）について
理事会	平成27年 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決議事項 ・ 平成26年度収支補正予算（案）について ・ 平成27年度事業計画（案）について ・ 平成27年度収支予算（案）について ・ 生涯学習推進特定資産の一部取崩し（案）について ・ 行政庁への定期提出書類「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（案）」の承認について ・ 嘱託職員就業規程の一部改正（案）について ・ 臨時職員就業規程の一部改正（案）について ・ 給与規程の一部改正（案）について ・ 事務局長の選任（案）について